

B型肝炎予防接種説明書（保護者用）

1. B型肝炎とは？B型肝炎ワクチンとは？

B型肝炎は、B型肝炎ウイルスが血液を介して感染することにより起こる病気です。この感染は、一過性で終わる場合と、感染の状態が続く場合（この状態をキャリアといいます）があります。症状が出ない人もいれば、肝硬変や肝がんなどの病気になる人もいます。ワクチンを接種することで、体の中にB型肝炎ウイルスへの免疫ができます。免疫ができることで、一過性の肝炎を予防し、キャリアになることを防ぎ、他の人への感染も予防できます。 ※予防接種を受けても、お子さんの体質や体調によって免疫ができないこともあります。

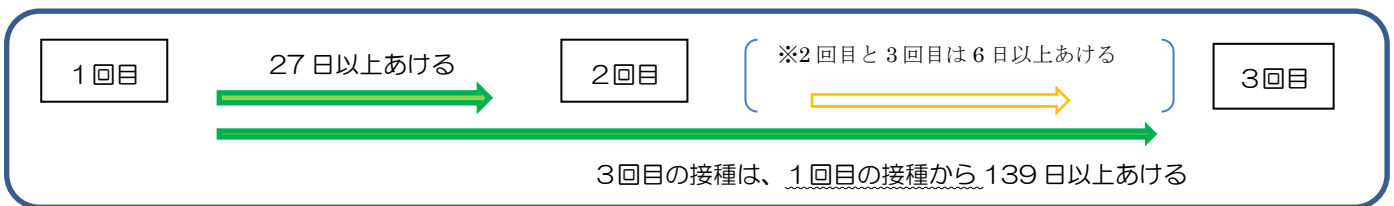
2. 対象者

1歳のお誕生日前日までのお子さん。

※母子感染予防のためにB型肝炎ワクチンの接種を受けている場合、健康保険適用のため定期接種の対象外です。

3. 接種回数・間隔

- 1歳になるまでに必要な間隔をあけて合計3回の接種が必要です。（間隔は下記参照。）
- 標準的な接種期間は、生後2か月から生後9か月までの間です。



4. 当日の注意事項

- 予防接種を受ける際は必ず母子健康手帳が必要です。
- 予診票は医師への大切な情報です。正確に記入し、当日の体調など正しい情報を医師に伝えてください。医師から十分に説明を聞き、理解した上で『接種する』・『接種しない』を判断してください。

5. 予防接種を受けることができない人

- 体温が37.5℃以上の場合。 ● 重篤な急性疾患に罹っていることが明らかな場合。
- 本剤の成分によってアナフィラキシーをおこしたことがある人。 ● その他、医師が不相当と判断した場合。

6. 接種後の注意

- 接種後、30分以内は健康状態の変化に注意してください。
- 接種後は接種部位を清潔に保ち、接種当日は過激な運動を避けるようにしましょう。
- 入浴はできますが、接種した箇所をこすらないようにしましょう。

7. 接種後の副反応について

- 接種箇所が赤くなったり、腫れたり、しこりができたり、痛みを感じたりすることがあります。
- 注射したところだけでなく、熱がでたり、刺激に反応しやすくなったりすることがあります。
- いつもより機嫌が悪かったり、ぐずったり、眠そうにしたりすることがあります。
- 極めてまれに、アナフィラキシー、急性散在性脳脊髄炎などの重い病気にかかることがあるといわれています。

予防接種を受けた後、気になる症状や体調の変化が現れたらすぐに医師に相談してください。

8. 予防接種による健康被害救済制度について

万が一、定期予防接種が原因で重篤な障害を残すなどの健康被害が生じ、厚生労働大臣が予防接種によるものと認定した場合は、予防接種法に基づく健康被害救済制度があります。

○問い合わせ：飯塚市 健幸保健課 感染症対策室 （電話）0948-22-0380
（FAX）0948-25-8994

*住民票のある市町村にお問い合わせください。